二戸市総合計画(H18~H27)について

1 二戸市総合計画の概要

(1) 二戸市総合計画前期基本計画(H18~H22)

旧二戸市と旧浄法寺町の合併後のまちづくりを進めるための計画となっている。

本格的な少子高齢化の到来や人口減少を課題として捉えているが、協働によるまちづくり、特にも産業振興に重点をおいた計画となっている。

(2) 二戸市総合計画後期基本計画(H23~H27)

前期計画期間での、旧市町の社会資本の均衡、一体化の推進に加え、地域、住民との協働を進めることとした計画となっている。

人口減少・少子高齢化などの課題に対し、地域という視点も加え、各分野別施策が連携して事業展開する計画となっている。

2 後期基本計画の事業進捗状況

(1) 後期基本計画で取り組んだ主な事業

① 後期基本計画で取り組んだ主な事業は次のとおりである。

| ① 仮別基本計画で取り組んだ主な事業は次切さわりである。 | | | | | | | |
|------------------------------|-----------|-------------------------|--|--|--|--|--|
| 施策の方向 | | 事 業 名 | | | | | |
| 1 | | にのへ産業チャレンジ支援事業 | | | | | |
| | | 企業誘致活動事業 | | | | | |
| | 産業活動が活発なま | 県営畑地帯総合整備事業(男神・米沢・湯田地区) | | | | | |
| | ちづくり | 経営体育成基盤整備事業 (川又地区) | | | | | |
| | | いわて未来農業確立総合支援事業 | | | | | |
| | | パークゴルフ場整備事業 | | | | | |
| | | 学力向上推進事業 槻陰舎きぼう塾 | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 | 地域を担う人を育て | 国際理解教育推進事業 | | | | | |
| | るまちづくり | 福岡中学校整備事業 | | | | | |
| | | 多目的運動場整備事業 (横山グランド) | | | | | |
| | | 天台寺修復事業 | | | | | |
| | | 二戸消防署・浄法寺分署建設事業 | | | | | |
| 3 | 安全で安心して暮ら | 介護サービス施設等整備事業 | | | | | |
| 3 | せるまちづくり | 健康管理システム導入事業 | | | | | |
| | | 浄法寺診療所耐震改修事業 | | | | | |
| | | 市民協働道路整備事業 | | | | | |
| | 生活環境が整備され | 県道二戸一戸線岩谷橋工区街路整備事業 | | | | | |
| 4 | | 新幹線二戸駅周辺地区土地区画整理事業 | | | | | |
| | たまちづくり | 公共下水道事業 | | | | | |
| | | | | | | | |

| 5 | 市民とともに歩むま ちづくり | シティセールス推進事業 にのヘブランド海外発信事業 市民協働推進事業 |
|---|-------------------|--|
| G | スリムな行財政によ | 総合計画推進事業 |
| 6 | るまちづくり | 市役所本庁舎改修事業 |

- ② 後期基本計画期間内で完了しない見込みの主な事業は次のとおりである。
 - ・金田一温泉センター大規模改修事業
 - · 歷史 · 文化交流施設整備事業

(2) 事業の進捗状況(事業費ベース)

平成26年度までの事業の進捗状況は次のとおりである。

(単位:億円)

| 施策の方向 | | 計画事業費 | 実施事業費 | 進捗率 | |
|-------|----------------------|--------|-----------|---------|--|
| 1 | 産業活動が活発なま ちづくり | 39.3 | 30.8 | 78.4% | |
| 2 | 地域を担う人を育て るまちづくり | 65.5 | 52.9 | 80.8% | |
| 3 | 安全で安心して暮ら せるまちづくり | 7 9. 9 | 59.9 | 75.0% | |
| 4 | 生活環境が整備され たまちづくり | 106.7 | 79.4 | 7 4. 4% | |
| 5 | 市民とともに歩むま ちづくり | 3. 5 | 2. 8 | 80.0% | |
| 6 | スリムな行財政によ るまちづくり | 3. 5 | 3. 8 | 108.6% | |
| 合 計 | | 298.4 | 2 2 9 . 6 | 76.9% | |

[※]実施事業費はH23~H25 が決算、H26 が当初予算額で算定

(3) 事業進捗の概要

- ①計画期間が残り1年ある状況で実施事業費が計画の約8割に達しており、概ね順調に進んでいる。
- ②「地域を担う人材を育てるまちづくり」は、事業費が大きい福岡中学校建設事業の進捗が進んだことから、「スリムな行財政によるまちづくり」は、市役所本庁舎大規模改修事業費が多くなったことから進捗率が高くなっている。
- ③「生活環境が整備されたまちづくり」は、道路整備や区画整理事業などの国庫補助金が要望額を下回っていることから進捗率が低めになっている。

3 後期基本計画の目標指標達成見込み (概要)

(1) 目標指標について

後期基本計画では、目標指標を掲げ、この目標に向かって施策・事業に取り組むこととしている。 この指標は、数値で施策に対する達成状況を把握できることから、事業実施に対する成果や その分析に活用できる。

(2) 達成見込みの状況

平成27年度での目標指標達成見込みは次のとおりである。

(単位:件)

| 施策の方向 | | 指標数 | 達成できる | ほぼ達成 できる | 達成が難しい |
|-------|----------------------|-----|-------|-------------|--------|
| 1 | 産業活動が活発な まちづくり | 22 | 8 | 4 | 10 |
| 2 | 地域を担う人を育 てるまちづくり | 19 | 9 | 5 | 5 |
| 3 | 安全で安心して暮 らせるまちづくり | 28 | 13 | 9 | 6 |
| 4 | 生活環境が整備されたまちづくり | 21 | 7 | 5 | 9 |
| 5 | 市民とともに歩む まちづくり | 10 | 2 | 6 | 2 |
| 6 | スリムな行財政に よるまちづくり | 7 | 7 | 0 | 0 |
| 合 計 | | 107 | 46 | 29 | 32 |

(3) 目標指標の概要

- ①指標の数値目標に対し、約7割がほぼ達成できる見込みとなっている。
- ②「安全で安心して暮らせるまちづくり」、「スリムな行財政によるまちづくり」は達成状況が高い。理由として健康福祉分野の達成度が高いこと、行財政のスリム化が進んでいることが上げられる。
- ③「産業活動が活発なまちづくり」と「生活環境が整備されたまちづくり」で指標の達成が難しい項目が多くなっている。これは、畜産農家戸数の減少や観光入込客数の伸び悩み、ごみの資源化の取り組みが予定より進まなかったことが影響している。

4 後期基本計画の進捗状況(全体)

2の「事業の進捗状況」で示したように、「福岡中学校整備事業」をはじめ、「県道二戸一戸線 岩谷橋工区街路整備事業」、「二戸消防署・浄法寺分署建設事業」、「パークゴルフ場整備事業」、「県 営畑地帯総合整備事業」、「経営体育成基盤整備事業」などの生活基盤や農業生産基盤の整備を着 実に進めるとともに、「にのへ産業チャレンジ支援事業」や「シティセールス推進事業」、「市民 協働推進事業」などの産業振興や地域づくりにも取り組んできた。

このように、住民生活を支える社会基盤整備が進み、その基盤を活かした産業活動や地域づくりの取り組みが進んできたことは評価できるものの、人口減少や少子高齢化が進み、一人暮らし高齢者の支援や地域力の低下など、今後の地域づくりを考えるうえで、解決していくべき課題も多くある。

次期総合計画及び人口ビジョン・総合戦略の策定に向けては、整備された生活基盤を十分活用 しながら地域振興を図るため、住民や企業も巻き込んだ地域活性化に向けた事業を展開すること で、暮らしやすく住みやすい地域づくりを進めることが必要である。

5 後期基本計画の進捗状況(分野別)

(1) 産業活動が活発なまちづくり

- ◇浄法寺漆、三大ミート、フルーツなどのブランドイメージが定着し、対外的にも注目されたことにより、販路拡大につながっている。
- ◇農林畜産業は、人農地プランに基づく取組みや認定農業者等地域の中心経営体への農地集積を 進め、農業所得の向上に努めている。
- ◇企業誘致、就労支援及び起業者支援に取り組み、雇用環境の改善は見られるが雇用のミスマッチや高校生の地元就職などの課題もある。
- ◇パークゴルフ場の整備やエコツアーの開催、各種イベント実施など交流人口の増加に努めているが観光入込客数は伸びていない。

(2) 地域を担う人を育てるまちづくり

- ◇学力向上推進事業、槻陰舎きぼう塾などの取り組みが、児童生徒の学力アップや郷土愛の 育成につながっている。
- ◇福岡中学校建設事業をはじめとした学校施設の改修により、子どもたちが安心して学べる 環境が整備された。
- ◇図書館のリニューアルにより、貸し出し数の増加や学習スペースの利用者増につながっている。

(3) 安全で安心して暮らせるまちづくり

- ◇保健事業、食育事業の展開により健康への関心が高まっている。一方で、子どもの肥満、 脳卒中の割合が高いなどの課題がある。
- ◇子育て支援については、平成 27 年度から施行される新制度に対応するため検討を進めて きた。今後各種施策を展開する。
- ◇地域防災拠点となる二戸消防署、浄法寺分署の建設が完了することから、防災機能が向上 する。今後、この施設の活用と防災組織との連携を図る。

(4) 生活環境が整備されたまちづくり

- ◇市民協働道路や生活道路の整備など、住民の生活に密着した道路の改修により生活の利便 性向上を図っている。
- ◇道路整備や区画整理事業などの国庫補助事業は、補助内示額が減少傾向であり事業の進捗 にも影響している。

(5) 市民とともに歩むまちづくり

- ◇住民による自主的な地域づくり活動を促進するため、地域づくり計画の策定、補助金など の支援や地域リーダーの育成により、地域力の向上を図っている。
- ◇シティセールス事業やにのヘブランド海外発信事業により、市の魅力発信と交流促進に取り組み、効果も出始めている。

(6) スリムな行財政によるまちづくり

◇行財政改革大綱に基づき、職員数の適正化と財政の健全化に努めた結果、各種指標も改善 し成果が現れている。